

連休の安全指導を



学校だより

沃野

第 5 号

発行者 みやら けん
校長 宮良 健



☆ 保護者の皆様へ

ゴールデンウィーク

大型連休を有意義に

若夏の季節、保護者や地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本校においては、生徒たちも新年度がスタートし、新しい生活環境の中学校や家庭のきめ細かな支援を受け、勉強や部活動等に生き生きと頑張っております。

自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動などを行う絶好の機会でもあり、生徒の健全育成から有意義な活用が望まれます。反面、連休は外出する機会が多さや開放感などから逸脱行為や事件・事故の発生が懸念されます。

家庭教育とは…？



教育には3つの分野があります。それは「学校教育」と「社会教育」と「家庭教育」です。

「学校教育」はプロの先生達が学校という整った施設で集団的に行っています。社会教育も、それぞれの専門家が行政機関

や関係団体と共に能率よく進めています。しかし、家庭教育はそうではありません。教育のプロではない保護者が、忙しい仕事や家事の合間に迷いながら取り組んでいるのです。では本来、家庭教育と

のことを参考のうえ、家庭や地域においても日常的な生活指導に万全を期していただくようお願いいたします。

■ぜひ、確認を！

① 連休を活用し、生徒が社会奉仕体験活動、自然体験活動などを通して、家庭や地域社会の一員としての存在感が高められるよう家族や親戚縁者が一緒に活動する場の設定などに努める。

② 生徒の在宅確認や動向について、適切に状況を把握し、深夜外出や外泊等は安全管理上からも認められないことを理解させるよう指導の徹底を図るとともに生徒一人ひとりの居場所づくりに努める。

4月29日 昭和の日

○「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」ことを趣旨としている。

5月3日 憲法記念日

○憲法記念日は、その国が憲法を採用したとされる日。国民の祝日に関する法律では「日本国憲法の施行を記念し国の成長を期する」ことを趣旨としている。

5月4日 みどりの日

○国民の祝日に関する法律では「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し豊かな心をはぐくむ」ことを趣旨としている。

5月5日 こどもの日

○国民の祝日に関する法律では「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福を図るとともに母に感謝する」ことを趣旨としている。

③ 事件・事故が発生した場合、速やかに学校や関係機関との連携を図るとともに早期発見と再発防止のため協働体制の確立に努める。

④ 「地域の子どもを地域全体で育てる」との認識のもと、地域ぐるみで公園、遊び場などの点検、街頭指導を積極的に実施し、事件・事故の未然防止に努める。

は少なくとも何をすべきなのでしょう。

第一は、子どもたちの毎日の生活を通して生活習慣の基本を教えることです。起床、洗面、排便、食事、衛生、整理整頓、身の回りの始末、行儀、作法、マナー、そして善悪の判断などです。第二は、家庭学習の習慣をつけることです。

第三は、遊ばせ、かつ家事労働に参加させること。

第四は、兄弟、姉妹、友人、近所づきあい、目上の人への接し方など、人間関係の在り方を教えることです。また、家庭教育で最も大切なことは一家が協力することです。(資料より)



毎月1日は「人権の日」

5月1日(月)朝の時間を利用して、掲示放送委員会による人権作文の読み聞かせが行われました。



掲示放送委員の宮本さん(中1)

人権教育では「子どもに関する人権」「女性・性に関する人権」「高齢者に関する人権」「障害者に関する人権」「外国人に関する人権」「HIV感染者などに関する人権」「その他人権に関すること」「アニマルライツ」などの内容を展開していく予定です。

今回は、掲示放送委員会の宮本さんが読み聞かせの担当として頑張ってくれました。

小学校の時も同委員会に所属していたとのこと、その時の経験を生かした素晴らしい放送でした。宮本さん、本当にありがとうございました。

◆本日の人権作文 「相談する勇気を」

徳之島町立井之川中学校 1年 田之畑 奈保子

今、自分の身の回り「いじめ」を受けている人はいないだろうか。自分がいじめられているという人はいないだろうか。そんな人たちに伝えたい相談することの大切さを。

「もういい。聞きたくない」。私は目に涙をためながら、思い切りさげんだ。「私は奈保子の味方だからね」。帰り道、そう言ってなくさめてく

れていた私の一番の友達。彼女も私の悪口を言っていたなんて。もう誰のどんな言葉も私の心には届かなかった。本当に悪口を言っていたのだろうか。信じたくない気持ちとやっぱり言ったのだからと親友への失望感で私の心は、おしつぶされそうだった。小学五年生の冬、私が立ち直れたのは、相談をしたからだと思ふ。

私は、自分がいじめられていることをだれにも絶対話したくなかった。家族に心配をかけてしま

うから、一人でも解決できると思っていたから。でも、一人ではなやむことは、とてもつらく、家族に話すことにした。涙ながらに話した私の話を、家族は真剣に聞いてくれて、受けとめてくれた。心の中は、すっきりとした。

私は相談をして良かった。と心の底から思った。自分の思いを言葉にのせてはき出すことで、心がどんどん軽くなっていくのを実感した。

最近、テレビのニュースや新聞で「いじめ」「自殺」という言葉を多く見聞きする。いじめが原因で自殺した中・高校生が今までに数えきれないほどいる。

いじめはなぜ、起こってしまったのだろうか。私は考えた。いじめをする人の心の中に、自分とちがう価値や考え方を持った人を認めようとしなかったり、ばかにしたりする気持ちからうまれるものだと私は思う。人はだれでも、このような気持ち

がわき出るかもしれないが、それは、間がいてあることで、おかしなことだということに、いじめられている人は気付いてほしい。いや、気付かなければならぬ。そして、いじめられている人は、

間違いに黙らずに、自分の心の叫びを声に出してほしいのだ。

だから、だれにでも、少しでも、相談してほしい。絶対に。

相談することは、家族にもっと心配をかけるかもしれない。いじめがエスカレートするかもしれない。そんな心配があるかもしれない。しかし、私は相談することによって自分の思いを分かってもらい一人じゃないと思える安心感がうまれた。

自分の気持ちを分かってくれる人がいるということを心強く思った。また人を再び信じることができた。

人は話すことによって、自分ではどうすることもできない、ぐしゃぐしゃにからみ合っている色々な感情が整理されてきつと、見えてくると思う。

私は言いたい。いじめが原因で自殺する勇気があるのなら、相談する勇気を少しでも持つてほしい。命を落とすということ、は、どんなことよりも、家族や身近な人を最も悲しませることだ。

私は相談したことによって友達との間にあ

たわだかまりが、徐々に解けていった。

松谷みよ子さんの「わたしのいもうと」。この本の最後の文章が、私の心に残っている。

「わたしをいじめたひとたちは、もうわたしをわすれてしまったのでしょね。あそびたかったのに、べんきょうしたかったのに」。

いじめは人の心を閉ざしてしまうほど、おそろしい、魔物のような力があるのだと読むたびに感じる。

そのおそろしい力に心がこわされてしまう前に、少しでも相談できていたら心のさけびを伝えることができていたらなと思ふ。

これからも困ったり、悩むことがあったりしたら、必ず家族や先生、友達に相談する勇気は忘れずに持ち続けていたい。

また相談を受けとめ、話を聞いてあげられる人にもなりたい。

きっと、あなたを思い、支えてくれる人がいる。必ず。絶対に。



【お知らせ】

本校では、学校だより「沃野」、図書館だより、ほけんだより等を学校ホームページでも発信しております。

また、生徒たちの様子なども掲載しております。下記URLから左記QRコードからアクセスしてご覧ください。



【QRコード】

URL → <https://www.taketomicho-boe.jp/17/>

編集後記

まだまだ連休が続きます。大型連休(ゴールデンウィーク)を有意義に過ごすためには、自分で考えて計画を立て、自分の生活リズムに合わせながら計画を実行することが大切になってきます。健康・安全第一に楽しく過ごしましょう。